



平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年8月2日

上場取引所 名

上場会社名 名古屋電機工業株式会社
コード番号 6797 URL <http://www.nagoya-denki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 干場 敏明

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 中村 昭秀

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

TEL 052-443-1111

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,948	—	△41	—	△30	—	213	—
25年3月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	35.46	—
25年3月期第1四半期	—	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	12,519	7,252	57.9	1,203.53
25年3月期	12,788	7,048	55.1	1,169.64

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 7,252百万円 25年3月期 7,048百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,410	△76.0	△1,040	—	△1,030	—	△770	—	△127.77
通期	12,700	7.9	10	—	20	—	370	—	61.40

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期1Q	6,032,000 株	25年3月期	6,032,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期1Q	6,052 株	25年3月期	5,776 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期1Q	6,025,957 株	25年3月期1Q	6,026,244 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、前第1四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を開示していましたが、平成25年4月1日を効力発生日として連結子会社(株式会社インフォメックス)の吸収合併により、連結対象会社が存在しなくなったため、当第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していません。また、前第1四半期連結累計期間は、四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期に係る比較情報は記載していません。

この合併により、「抱合せ株式消滅差益」として279百万円を特別利益に計上しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、円安に伴う輸出の増加や各種政策効果の期待を背景に消費者マインドは大きく改善し、着実に持ち直してまいりました。また、公共投資は、復興需要や緊急経済対策の効果から堅調に推移しました。しかしながら、海外景気の下振れ懸念や、輸入物価の上昇等により依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社の主要事業であり、官需を主とする情報装置事業につきましては、公共投資は堅調に推移しているものの、激しい競争のなか、売上については厳しい状況で推移しました。

また、民需を主とする検査装置事業につきましては、設備投資は、企業収益の回復を受け下げ止まりつつあるも依然として低調な動きが続いており、受注と売上は厳しい状況で推移しました。

このような状況のなか、当社では、顧客対応力を強化し開発・製造・販売一体で受注の確保に努めてまいりました。また、コスト管理強化の推進や固定費を中心としたコスト削減を行い収益性の改善に取り組んでまいりました。また、情報装置事業で培ったLED技術と営業力を活かしLED照明の販売を開始しました。既存顧客である官公庁向け道路照明をはじめとして民間企業向け照明のラインナップも揃え、積極的に営業活動を行い新規市場の開拓を推進してまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間におきましては、売上高19億48百万円、営業損失41百万円、経常損失30百万円、四半期純利益につきましては、子会社合併による特別利益2億79百万円を計上したことなどにより2億13百万円となりました。また、当第1四半期会計期間の末日現在の受注残高は60億62百万円となりました。

なお、当社の主要事業である情報装置事業の大半は、官公庁向けの道路交通に関わる情報装置関連製品であり、例年、売上高は第4四半期、特に期末に集中する傾向がありますので、第1四半期累計期間の収益は、相対的に低水準となっております。

また、当社は、前第1四半期連結累計期間では四半期連結財務諸表を開示しておりましたが、平成25年4月1日を効力発生日とした連結子会社（株式会社インフォメックス）の吸収合併により、連結対象子会社が存在しなくなったため、当第1四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成していません。なお、前第1四半期連結累計期間は四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期との比較は行っていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の資産は125億19百万円となり、前事業年度末と比較して2億69百万円の減少となりました。

流動資産は85億37百万円となり、前事業年度末と比較して2億75百万円の減少となりました。これは、現金及び預金が25億75百万円、原材料及び貯蔵品が3億53百万円増加したものの、受取手形及び売掛金が34億52百万円減少したことによるものです。

固定資産は39億81百万円となり前事業年度末と比較して6百万円の増加となりました。これは、無形固定資産が22百万円、投資その他の資産が10百万円減少したものの、有形固定資産が39百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は52億66百万円となり、前事業年度末と比較して4億73百万円の減少となりました。

流動負債は42億78百万円となり、前事業年度末と比較して4億59百万円の減少となりました。これは主に、前受金が4億76百万円増加したものの、支払手形及び買掛金が5億44百万円、未払金が4億66百万円減少したことによるものです。

固定負債は9億88百万円となり、前事業年度末と比較して13百万円の減少となりました。これは主に、退職給付引当金が15百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は72億52百万円となり、前事業年度末と比較して2億3百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金が1億83百万円、その他有価証券評価差額金が20百万円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、当初予定どおり売上高127億円、営業利益10百万円、経常利益20百万円、当期純利益3億70百万円を見込んでおります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,067,728	4,642,786
受取手形及び売掛金	5,196,358	1,743,928
仕掛品	761,125	921,097
原材料及び貯蔵品	579,305	933,262
その他	208,664	296,273
貸倒引当金	△358	△118
流動資産合計	8,812,824	8,537,231
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,882,330	1,882,330
その他(純額)	684,091	723,164
有形固定資産合計	2,566,421	2,605,495
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	1,090,640	1,095,971
その他	39,179	23,475
投資その他の資産合計	1,129,820	1,119,447
固定資産合計	3,975,487	3,981,903
資産合計	12,788,312	12,519,134
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,051,344	2,506,926
未払法人税等	16,493	7,000
賞与引当金	129,541	99,526
製品保証引当金	67,854	67,741
工事損失引当金	236,376	318,503
前受金	229,343	706,169
その他	1,006,689	572,514
流動負債合計	4,737,642	4,278,382
固定負債		
退職給付引当金	941,583	926,538
役員退職慰労引当金	47,450	43,330
その他	13,146	18,492
固定負債合計	1,002,179	988,360
負債合計	5,739,822	5,266,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,005	1,100,005
資本剰余金	1,020,375	1,020,375
利益剰余金	4,723,280	4,906,851
自己株式	△3,390	△3,473
株主資本合計	6,840,269	7,023,758
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	208,219	228,632
評価・換算差額等合計	208,219	228,632
純資産合計	7,048,489	7,252,391
負債純資産合計	12,788,312	12,519,134

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	1,948,394
売上原価	1,589,024
売上総利益	359,369
販売費及び一般管理費	400,921
営業損失(△)	△41,551
営業外収益	
受取配当金	9,429
その他	4,566
営業外収益合計	13,995
営業外費用	
支払保証料	2,574
その他	92
営業外費用合計	2,666
経常損失(△)	△30,222
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	279,752
その他	1,000
特別利益合計	280,752
特別損失	
投資有価証券評価損	9,770
固定資産除却損	786
特別損失合計	10,556
税引前四半期純利益	239,972
法人税、住民税及び事業税	3,433
法人税等調整額	22,837
法人税等合計	26,270
四半期純利益	213,702

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当第1四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	情報装置事業	検査装置事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,719,956	228,437	1,948,394	—	1,948,394
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,719,956	228,437	1,948,394	—	1,948,394
セグメント利益又は損失 (△)	146,062	△52,875	93,186	△134,738	△41,551

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△134,738千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用△134,738千円であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門及び研究開発部門に係る費用であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。